

平成30年10月30日
農業技術センター技術普及部

標 題	「第51回中国四国地域若い農業者のつどい」のプロジェクト発表で出雲市農林改良青年会議が最優秀賞を受賞！
-----	---

(ダイジェスト)

10月18(木)～19日(金)、松江市を主会場に開催された「第51回中国四国地域若い農業者のつどい」のプロジェクト発表において、出雲市農林改良青年会議が最優秀賞を受賞し、来年2月に行われる全国青年農業者会議に中国四国地域代表として発表することになりました。

「中国四国地域若い農業者のつどい(以下、「つどい」という。)」は、中国四国地域の青年農業者等が一堂に会し、魅力ある農業・農村の創出のために取り組んできた活動についてのプロジェクト発表や意見発表のほか、先進地視察を行うバススクールを実施し、農村の担い手としての資質向上を図ることを目的とし各県持ち回りで実施されています。本県での開催は、平成21年以来9年ぶりでしたが、島根県農林改良青年会議連絡協議会(会長：浅津良伊知)が中心となって企画運営を担い充実した大会となりました。

プロジェクト発表は5県から発表がありました。本県からは「島根のアジサイを次世代に引き継ぐために」と題し、出雲市の多久和美由紀さんが島根県アジサイ研究会の取組みについて発表され、栄えある最優秀賞を受賞されました。来年2月の全国青年農業者会議にて、中国四国地域代表として発表されることになりました。

プロジェクト発表の5事例とも素晴らしい内容でしたが、中でも多久和さんの発表は、若手生産者ならではの情報収集能力の高さ、問題点の洗い出しに向けた分析手法の活用、島根県産アジサイが売れ続けるための組織体制強化に向けた提案など、発表の随所でオリジナリティの高さを伺うことができ、高く評価されました。



つどいに参加した青年農業者の熱心な聴講の姿を見ると、こうした発表は彼らの相互研鑽の機会として有益であり、青年農業者組織活動の重要性を再認識しました。そして、研修生や新規就農者の受け皿組織として、活動の強化に向けた取組みが必要だと考えさせられました。

受賞者の皆さん(左から2番目が多久和さん)